

二俣川駅周辺地区の概況

本基本構想は、以下に示す二俣川駅周辺地区の概況を背景に策定を開始した。

- 1 位置及び特性

二俣川駅周辺地区は、横浜市の西部に位置する旭区の中南部に位置している。二俣川駅は、一日の平均乗降客数が8万人を超え、区内で一番利用者が多い駅である。周辺には、県立がんセンター、ライトセンター、運転免許試験場等の広域利用圏をもつ公共施設が立地しており、二俣川駅周辺は区を中心地区として、多くの人が活動する地域となっている。



図 2-1 旭区の位置



図 2-2 二俣川駅周辺地区の位置

表 2-1 区内各駅の一日常乗降客数

	駅名	一日の 平均乗降客数
1	二俣川	80,884人
2	鶴ヶ峰	56,462人
3	希望ヶ丘	34,788人
4	南万騎が原	11,146人

資料) 横浜市統計ポータルサイト
(平成 21 年時点)

- 2 人口

1. 人口の推移と高齢化率の状況

旭区は、65歳以上の高齢者人口が58,735人、高齢化率は23.2%で、横浜市中で特に高齢化が進んでいる区である。

二俣川駅周辺地区の人口（平成22年3月31日時点）は、73,487人で、そのうち高齢者人口は14,949人、高齢化率は20.3%である。人口の推移をみると、平成18年の72,859人から0.8%の増加であり、ほぼ横ばいで推移しているが、高齢化率は、平成18年の18.4%から約2ポイント上昇し、年々高まってきている。

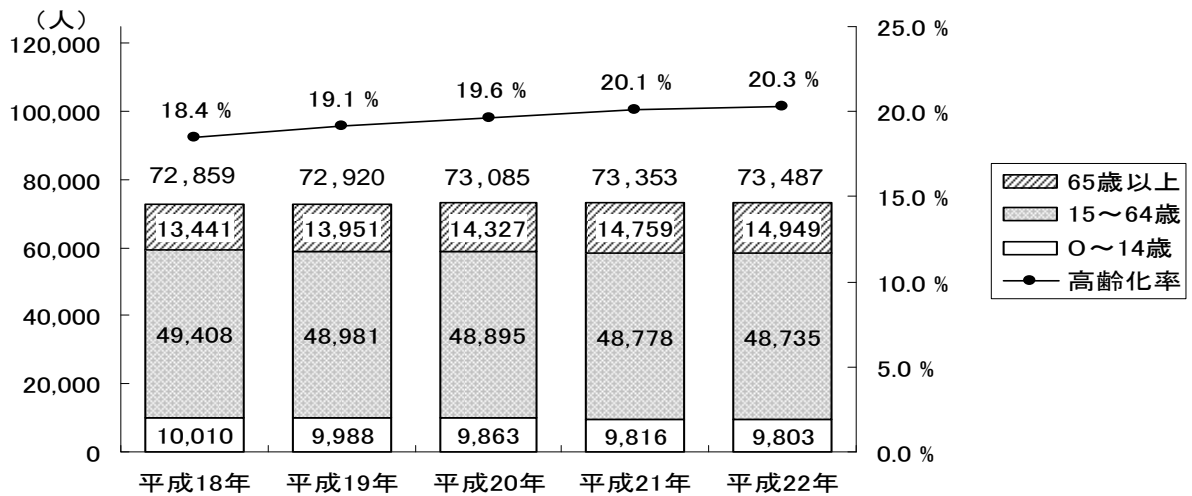


図 2-3 二俣川駅周辺地区の人口推移

資料) 横浜市統計ポータルサイト(各年3月31日時点)

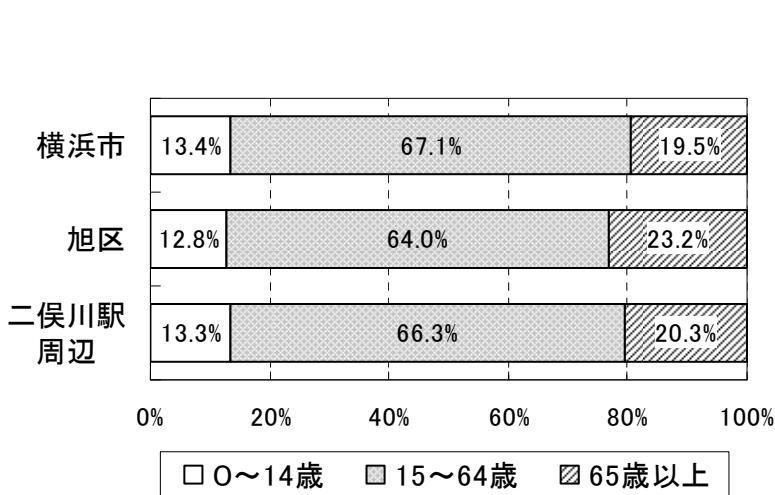


図 2-4 年齢別人口構成比

注：ここで二俣川駅周辺地区は、二俣川駅から概ね半径1kmの範囲に含まれる、四季美台、中沢一丁目、中尾一丁目、中尾二丁目、東希望ヶ丘、中希望ヶ丘、本村町、本宿町、南本宿町、さちが丘、万騎が原、二俣川1丁目、二俣川2丁目として算出した。

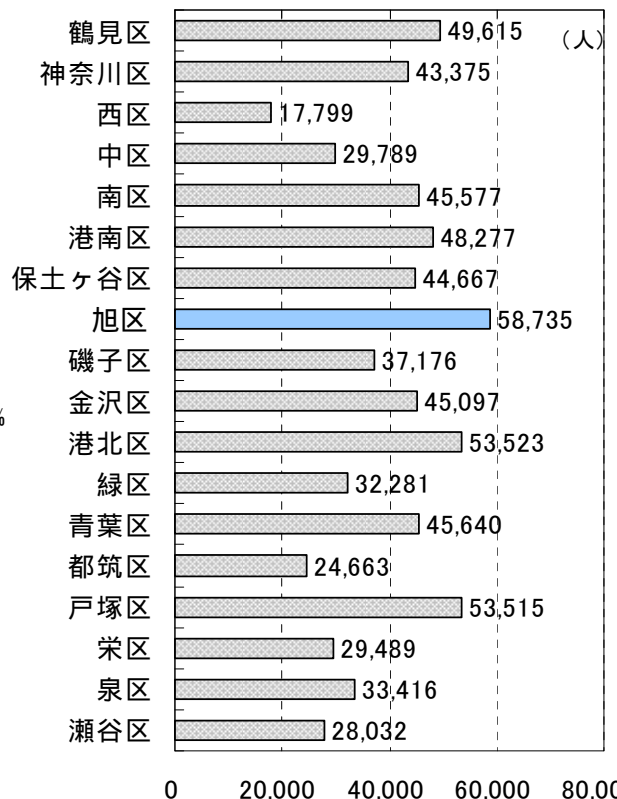


図 2-5 横浜市各区の高齢者人口

資料) 横浜市統計ポータルサイト(平成22年3月31日時点)

2. 障害者数の推移

旭区の障害者数（平成21年3月時点）は、9,531人であり、障害種類別ごとの障害者数は、肢体不自由者が3,771人と最も多く全体の約40%を占めている。また、障害者数の推移を見てみると、平成15年と比較して増加傾向にある。特に、内部障害と精神障害、知的障害のある方の人数が増えている。

なお、旭区の総人口は250,369人（平成21年3月時点）であり、そのうち障害者は9,531人と、約4%を占めている。

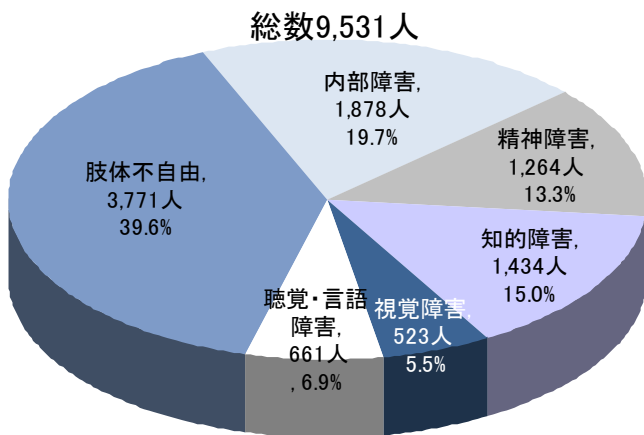


図 2-6 障害種類別ごとの障害者数 (平成 21 年 3 月時点)
資料) 横浜市統計書

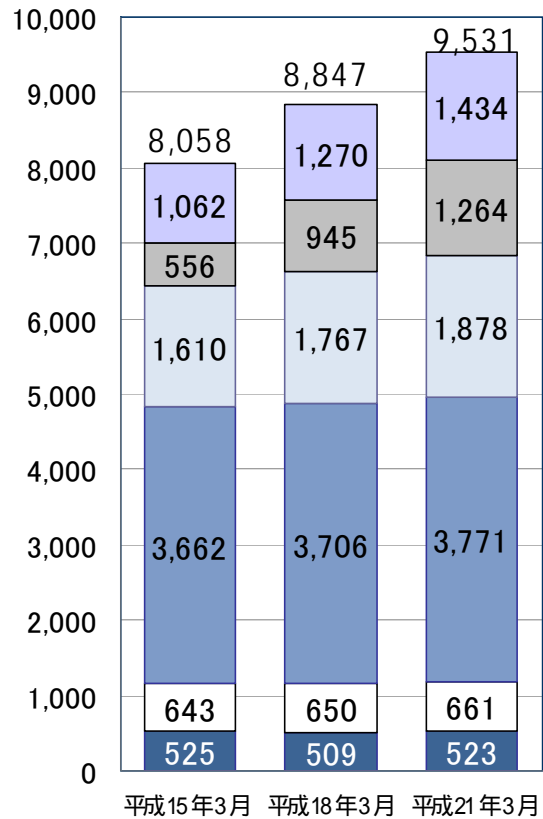


図 2-7 障害種類別ごとの障害者数の推移
資料) 横浜市統計書

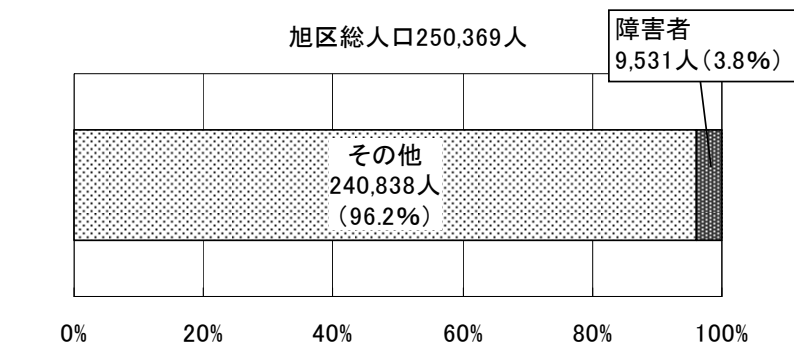


図 2-8 旭区総人口に対する障害者の割合 (平成 21 年 3 月時点)
資料) 横浜市統計書

※数値は障害者手帳の交付状況による。

- 3 公共交通

1. 鉄道

二俣川駅は、相鉄本線が相鉄いずみ野線に分岐する駅である。

一日平均乗降客数は、平成 21 年度時点で 80,884 人/日であり、平成 17 年度の一日平均乗降客数と比較すると 3.7%増加している。

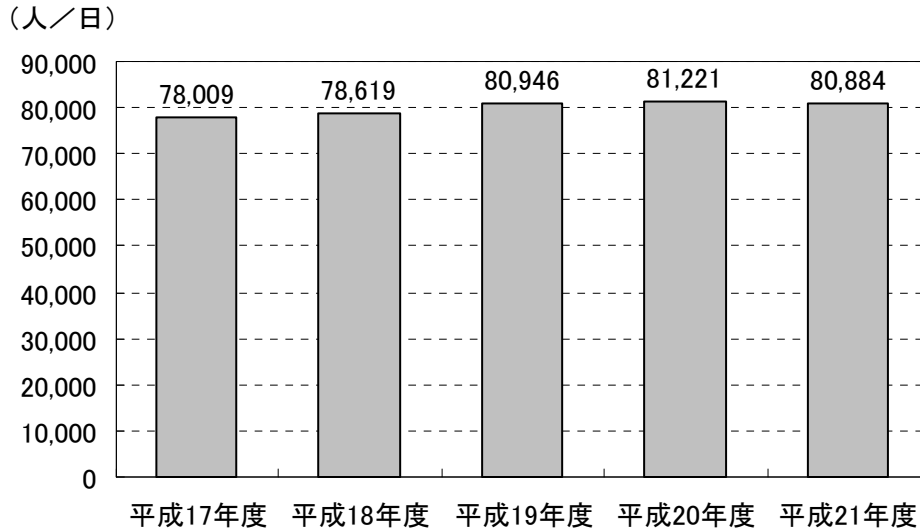


図 2-9 二俣川駅の一日平均乗降客数の推移

資料) 横浜市統計書

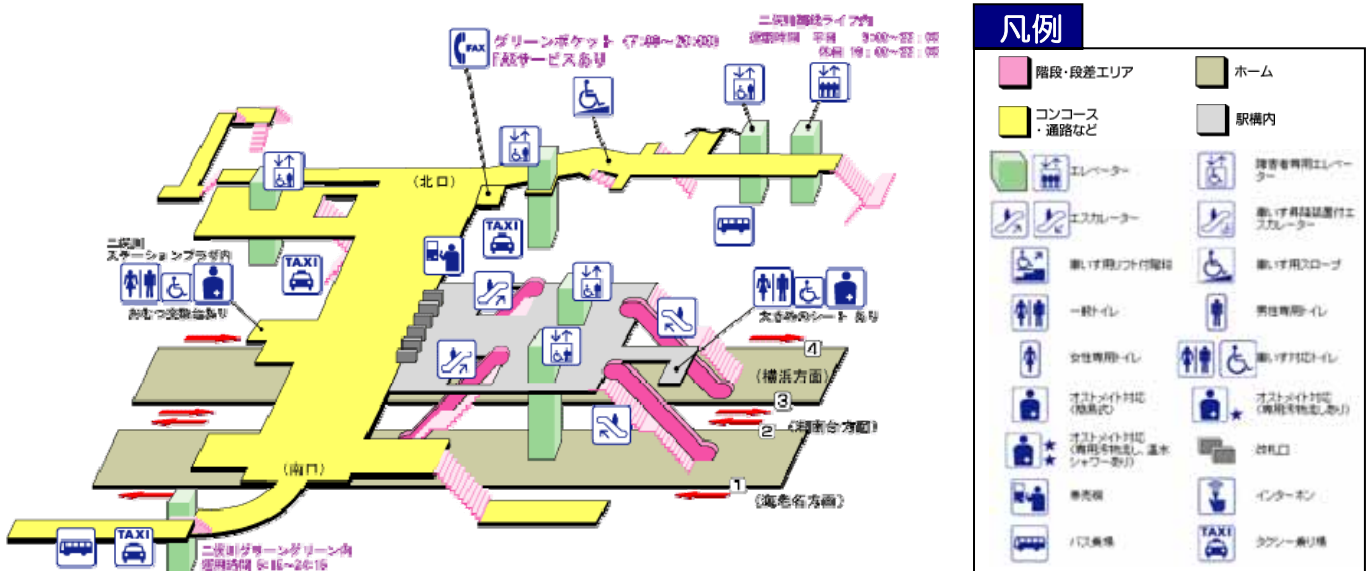


図 2-10 二俣川駅の状況

出典) 横浜市HP

2. バス

二俣川駅周辺地区の路線バスについては、駅の北口及び南口にそれぞれバスターミナルがあり、各ターミナルの二俣川駅の系統は表 2-2、表 2-3 に示すとおりである。

また、北口からは、相鉄バス、京浜急行バスの羽田空港行き的高速バスが運行されている。

表 2-2 二俣川駅北口の運行バス状況

系統	終点（着）	経 由
旭 2	左近山第 6	左近山第 2・第 4
旭 2	左近山第 5	左近山第 2・第 4
旭 4	保土ヶ谷駅東口	高地・美立橋・保土ヶ谷町
旭 4	バイパス経由 保土ヶ谷駅東口	左近山入口・美立橋・保土ヶ谷町
旭 4	美立橋	左近山入口・本宿
旭 5	保土ヶ谷駅西口	高地・桜ヶ丘
旭 21	旭高校入口	ニュータウン第 1・金ヶ谷
旭 21	運転試験場経由 旭高校入口	運転試験場・ニュータウン第 2・金ヶ谷
旭 23	運転試験場循環 二俣川駅北口	二俣川駅北口・運転試験場・清水ヶ丘団地
旭 36	旭高校入口	-

表 2-3 二俣川駅南口の運行バス状況

系統	終点（着）	経 由
旭 1	鶴ヶ峰駅	左近山第 6・市沢町
旭 1	左近山第 6	万騎ヶ原中央・左近山入口
旭 1	左近山第 5	万騎ヶ原中央・左近山入口
旭 6	市沢町経由 東戸塚駅西口	万騎ヶ原中央・左近山第 6・市沢町
旭 6	東戸塚駅西口	万騎ヶ原中央・左近山第 6
旭 18	希望ヶ丘駅	万騎ヶ原派出所・善部第 2
旭 19	万騎ヶ原循環 二俣川駅南口	小学校前・万騎ヶ原第 3
旭 19	緑園都市駅	小学校前・南万騎ヶ原駅

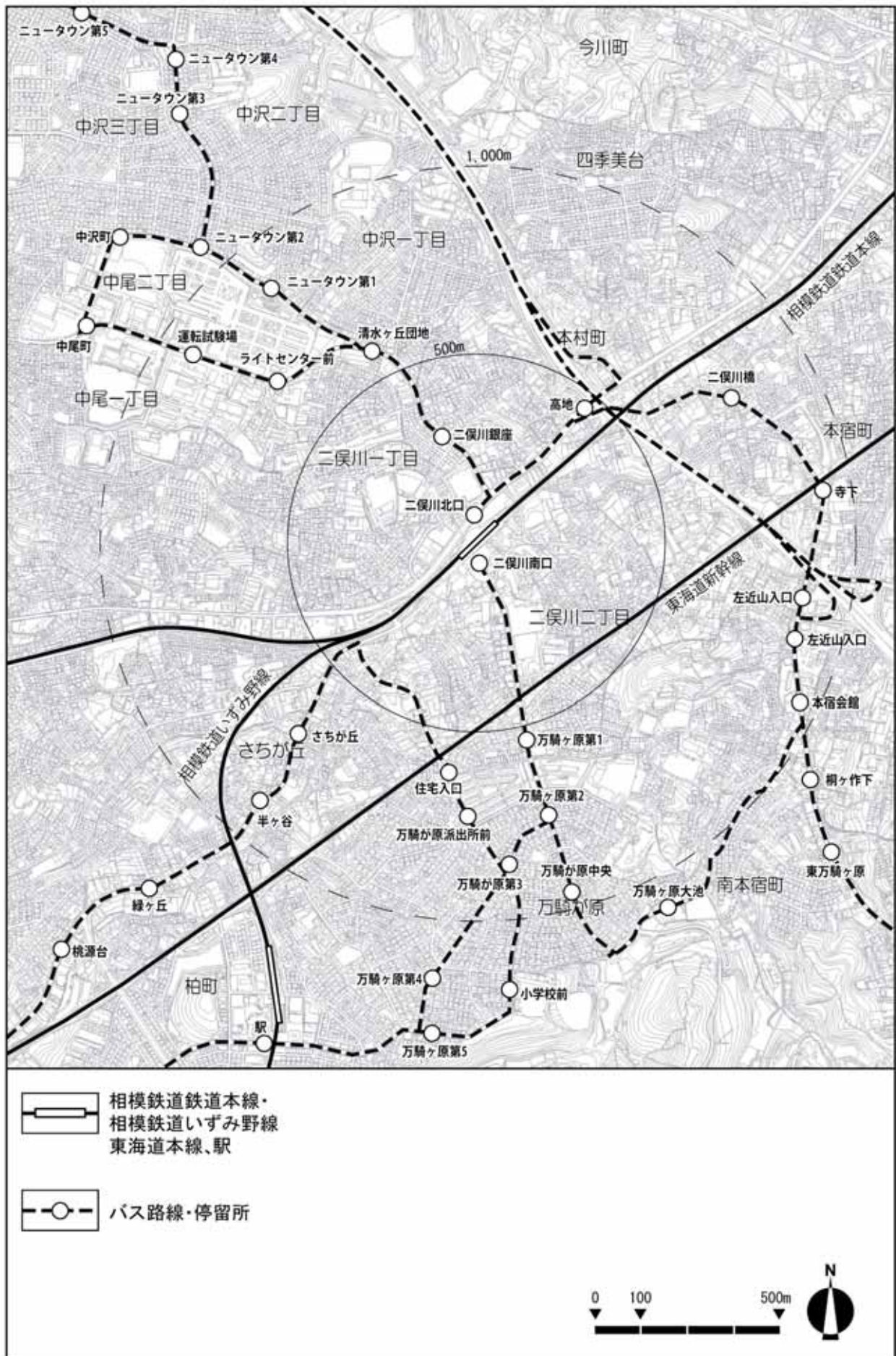


図 2-11 二俣川駅周辺のバス路線の状況

- 4 施設の分布状況

二俣川駅の周辺には、大規模小売店舗が出店している商業ビル等の商業施設や銀行、郵便局等の公共公益施設が集中し、その周辺に、障害者や高齢者福祉施設が点在している。(図 2-12 参照)

バリアフリー基本構想で定める、重点整備地区の範囲は、駅からの徒歩圏を考慮し、概ね半径 500m の範囲で検討するのが一般的である。

しかし、二俣川駅周辺地区においては、半径 500m 圏外に、県立がんセンターや運転免許試験場等の広域利用圏をもつ公共施設が立地しており、その他にも、旭区を中心地区として、多くの施設が集積しているため、ここでは、二俣川駅から概ね半径 1000m の範囲にある主な施設を抽出した。(表 2-4 参照)

表 2-4 二俣川駅周辺の主な施設

種別	施設名称	施設数
旅客施設	(1) 二俣川駅北口バスターミナル (2) 二俣川駅南口交通広場（計画）	2
官公庁等行政施設	(3) 旭警察署（800m） (4) 二俣川駅行政サービスコーナー（100m） (5) 神奈川県運転免許試験場（1000m） (6) 自動車安全運転センター神奈川県事務所（1000m）	4
文化施設	(7) 旭区民文化センター・サンハート（100m）	1
福祉施設	(8) 神奈川県ライトセンター（700m） (9) 障害者地域活動ホームふたまたがわ（500m） (10) フェニックス旭（中途障害者地域活動センター）（400m） (11) くるみ学園（成人部）（400m） (12) 第三空とぶくじら社 スマイル（500m） (13) おべんとうばこ（100m） (14) ふらんすぱん（100m） (15) 旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ（400m） (16) まゆの家（800m） (17) 希望ヶ丘ハイツ（800m） (18) 未来（800m） (19) グリンサイド清盛（900m）	12
医療施設	(20) 神奈川県立がんセンター（900m） (21) 旭休日急患診療所（800m）	2
商業施設	(22) 二俣川北口商店街（500m） (23) 二俣川南口商店街（600m） (24) 二俣川ビル（100m） (25) 西友二俣川店（200m） (26) 二俣川駅北口共同ビル（100m） (27) アルコット二俣川（200m） (28) グリーングリーン	7
郵便局	(29) 郵便局（株）横浜二俣川郵便局（100m） (30) 郵便局（株）横浜万騎が原郵便局（600m） (31) 郵便局（株）横浜旭郵便局（700m）	3
銀行・信用金庫	(32) 横浜銀行二俣川支店（100m） (33) 三井住友銀行二俣川支店（100m） (34) みずほ銀行二俣川支店（200m） (35) 三菱東京UFJ銀行 二俣川支店（100m） (36) ゆうちょ銀行 横浜旭店（700m） (37) 三浦藤沢信用金庫二俣川支店（200m）	6
農協	(38) JA横浜 本店（100m） (39) 二俣川支店（100m）	2
特別支援学校・認可保育所	(40) 明德二俣川保育園（100m） (41) まきが原愛児園（800m） (42) 旭はるかぜ保育園（900m）	3
公園	(43) 南本宿公園（700m）	1

※（ ）内の数字は、二俣川駅からの直線距離である。

※表中の施設番号は、図 2-12 の番号と対応する。

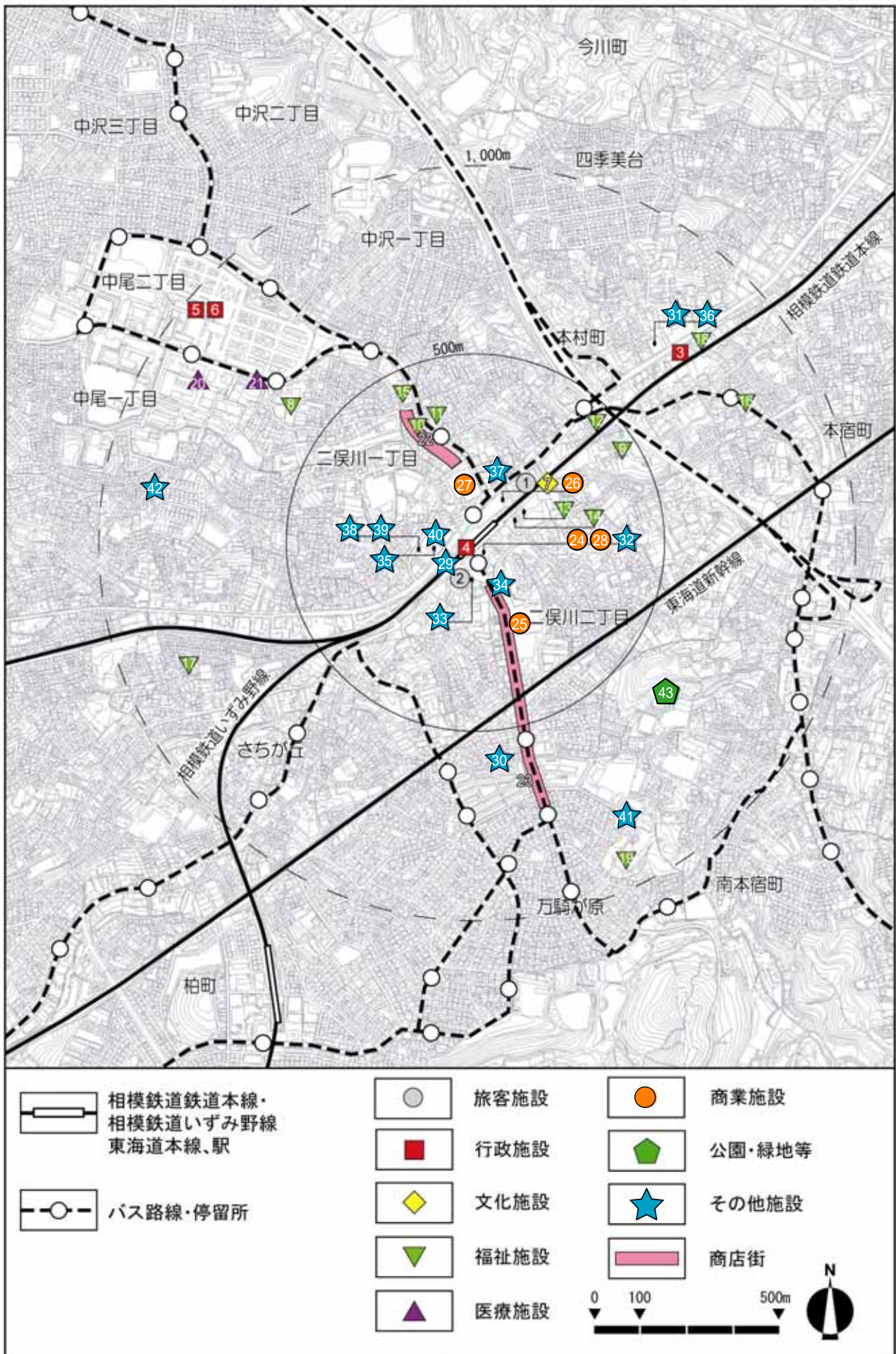


図 2-12 二俣川駅周辺の現況

- 5 二俣川駅周辺の主な事業

1. 二俣川駅南口地区第一種市街地再開発事業

二俣川駅南口地区において、南口交通広場の整備を行うなど、交通結節点機能の強化を図るとともに、都市型住宅、業務施設、商業施設、公益施設等の広域拠点性を生かした機能集積を進める事業として、組合施行による第一種市街地再開発事業が予定されている。

【事業の概要】

再開発施行区域面積	約 1.9ha
施設建築物（用途）	住宅、業務、商業施設、公益施設等
公共施設整備	二俣川駅南口交通広場、道路
施行者	二俣川駅南口地区市街地再開発組合（予定）

市街地再開発事業 概要図



※ 平成23年3月時点での計画

図 2-14 事業区域と事業で整備する公共施設

2. 都市計画道路鴨居上飯田線（本宿・二俣川、さちが丘地区）事業

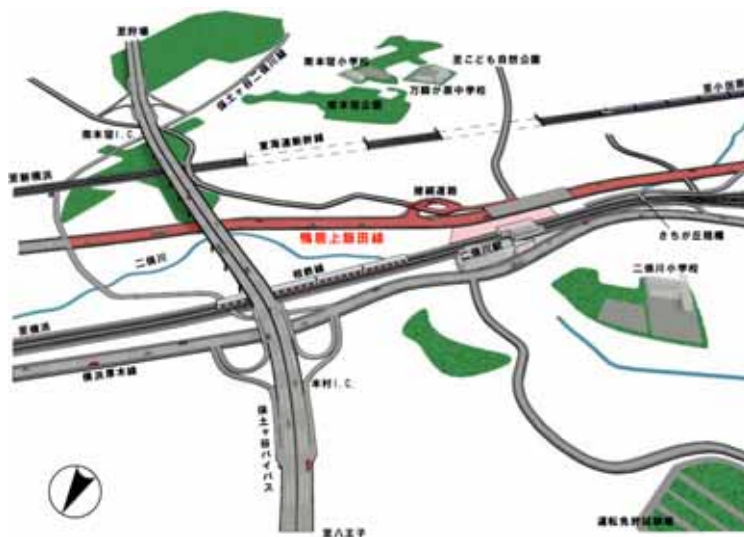
鴨居上飯田線は、横浜市の骨格となる幹線道路として、重点的に整備を進めている3環状10放射状型の幹線道路を補完する道路として位置づけられており、市北部の都筑区池辺町を起点とし、地域拠点としての二俣川・鶴ヶ峰地区を經由し、泉区上飯田町（大和市境）を終点とする延長約13kmの幹線道路である。

このうち、鴨居上飯田線（本宿・二俣川、さちが丘地区）の整備により、中田さちが丘線や保土ヶ谷二俣川線、保土ヶ谷バイパス（南本宿インターチェンジ）との連絡が強化されるなど、二俣川地区周辺における道路網の体系的な整備を推進する。

【事業の概要】

事業地区	本宿・二俣川地区	さちが丘地区
区 間	旭区本宿町～さちが丘	旭区さちが丘
延 長	約 1,270m	約 360m
幅 員	18m～28.5m（両側歩道；歩道幅員 4.5m）	18m（両側歩道；歩道幅員 4.5m）
車 線 数	本線2車線（片側1車線）	本線2車線（片側1車線）

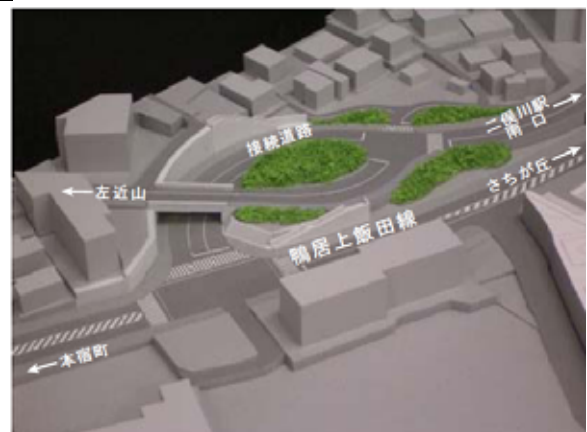
事業のイメージ図



主な効果：

- ・ 接続道路整備により駅へのアクセス改善
- ・ 住宅地の通過交通を当道路へ転換させることで生活環境向上

二俣川駅南口周辺（イメージ模型）



3. 二俣川地区県有地利活用計画（がんセンター・自動車運転免許試験場の整備など）

神奈川県（総務部財産管理課）は、平成19年3月に、がんセンターの整備（病院事業庁病院局県立病院課）や自動車運転免許試験場の整備（警察本部総務部施設課）などを中心とした「二俣川地区県有地利活用計画」を策定した。

（※担当課名は平成19年3月時点）

【主な事業概要】

がんセンター	自動車運転免許試験場東側に整備。 病院に加え、重粒子線治療施設を導入。 PFIを活用し、建設や運営等の業務を一括して委ねる。 (重粒子線治療施設は除く。)
自動車運転免許試験場	産業技術短期大学校グラウンドを新たな技能試験コースに転用し必要な面積を確保。 現がんセンターの敷地に集約化した新たな建物を整備。

現況（平成19年3月当時）



完成時イメージ



図 2-15 現況と完成時イメージ